

公共交通機関を 地域に残していくために

みんなで鉄道、バス、タクシーを使いましょう。

日野町は、3つの駅を持つJR伯備線、町営バスに路線バス、タクシーと、実は公共交通機関に恵まれたまち。しかし、利用者が少なくなればその存続も難しくなります。みんなの大切な移動手段を残すため、上手に、お得に乗りこなしましょう。

写真提供：木島泰さん（根雨）

開業からおよそ100年 町内の3つの駅

JR伯備線根雨駅が開業したのは、1922（大正11）年7月。伯備北線（当時）が江尾駅から延ばされたため、終着駅としての開業でした。同年11月にはさらに黒坂まで路線が延び、黒坂駅が誕生します。

翌年には黒坂と生山間が開通しますが、その中間である普福地区の人たちは、どちらの駅にも3、4キロの道のりを歩いていかなければならず、不便を強いられました。

住民たちは鉄道省に何度も中間駅の開設を請願し続け、また「上菅駅舎期成同盟会」を結成、駅舎建築費などの調達にも奔走しました。その苦勞が実り、1925（大正14）年4月に念願の上菅駅が開業しました。

こうして、身近な公共交通機関として親しまれている鉄道ですが、人口減少や家用車の普及などによって利用者が減少し、駅の無人化や路線そのものの廃止など、取り巻く環境は大き

く変わってきています。

「特急の停まる駅」の 存続のため積極利用を

JR伯備線、特に根雨駅では、普通、特急列車合わせること、上下線とも約1時間に1本列車が運行されていることになりました。

特急「やくも」なら、根雨と米子間が約25分。松江まで1時間程度、新幹線と乗り継げば大阪まで3時間もかかりません。阪神・岡山・広島方面へは、お得な往復割引切符もあります。

また、根雨駅には全国のJR乗車券等を販売する「みどりの窓口」があり、切符購入と同時に予約すれば駅の駐車場も使えるため、遠方からの駅利用や、旅行、出張の際も便利です。

まずは皆さんが積極的に鉄道を利用し、まちの駅を守っていきましょう。

バス、タクシーも 上手に使いましょう

日野町営バスは、菅福、奥渡、板井原・真住、根雨宿・病院の4路線で運行しています。

料金は、区間に関係なく中学生以上200円、小学生100円（根雨宿・病院線はそれぞれ100円、50円）です。いずれの路線も、なるべく鉄道ダイヤに連動した使いやすい時間設定を心がけています。

また、65歳以上で自動車が運転できない人、障がいがある人、要介護者などを対象に「タクシー助成制度」を設けています。最高で年48回、町内であれば片道1000円以内の負担でタクシーが利用できます。役場企画政策課で申請を受け付けていますので、どうぞご相談ください。

町内公共交通機関の問合せ先

- JR…お客様センター（電話0570-00-2486）
- 町営バス…日野交通（株）（電話0859-72-0219）
- タクシー…日野交通（株）（電話0859-72-0219）
- 日南交通（有）（電話0859-82-0801）
- 助成申込等…企画政策課（電話0859-72-0332）

獣害対策

お役立ち情報も。そこそこ教えて、
木下チーフ!



最前線

vol.11

目指せ鳥獣マスター

冬は研修会シーズン

日野町鳥獣被害対策協議会 実施隊チーフ
木下卓也【問合せ】電話 72-1399

逆に、電気柵やワイヤーメッシュ柵など効果があると思われている資材が十分に効果を発揮していない、効果がなくなったと言う人がいます。それは道具の問題ではなく、設置方法に問題があることがほとんどです。動物の視点から見ると無駄になってしまっていることがあるのです。

いずれも人間の視点や都合で考えてしまい、動物に対して十分な効力を発揮できていないのです。そこで実施隊では、研究や実験で得た知見、これまで撮りためてきた映像などを使って、動物の生態と被害対策についての研修会を開いています。集落座談会や生涯学習教室など、どこでも出前研修会を行いますので、役場または協議会にご連絡ください。農閑期である今がチャンスです!

「効果のない被害対策とはどんなものか?」それは、人間の視点で行う対策です。インターネットやテレビでさまざまな対策やグッズが紹介されています。「剣山のようなトゲトゲを敷く」「有刺鉄線を張り巡らす」「オオカミのおしっこを撒く」「青色電灯を光らせる」「ロボット犬が吠える」など。でも、これらのほとんどは、効果が実証されていないか、持続しなかったりというものです。効果がないのは動物の生態や行動に基づいて作られていないからです。

【日野郡鳥獣被害対策実施隊ブログ】
こちらのQRコードを読み取ってください。

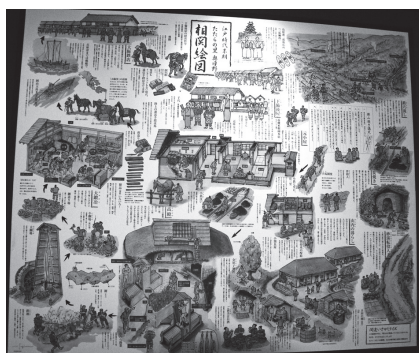


今月のCHECKポイント!

実施隊ブログで動物の生態をチェックしよう!!

この連載で紹介した写真の動物画像やいろいろな動物の生態について公開しています。興味のある人は、「日野郡鳥獣被害対策実施隊」で検索してみてください!

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT



鳥取県内にはたたら資料を展示する施設が二つある。ひとつは日南町大宮にある「たたら楽校大宮楽舎」。そしてもう一つは、根雨の近藤家の向かいにある「たたら楽校根雨楽舎」である。

建物自体は改修されているが、この床の間は建築当時のオリジナルが保存されている。展示資料では、まず目を引くのがたたら相関図。当時の人々の暮らしを描いたものだが、よく、ポスターにして販売もしている。そしてたたら歴史年表。江戸から大正時代までの国内情勢と奥日野のたたらに関連を比較して一目で見ることが出来る。近藤家古文書のスポット解説では、福岡山たたら

たたら奥

文 = 伯耆国たたら顕彰会 副会長 佐々木幸人

第9回 「たたら楽校」
たたらマイスターが、あなたを奥日野たたらの世界に引き込みます。

建物は出店近藤と呼ばれる明治元年に建築された古民家、これ自体が一見の価値がある建物だ。当時としてはまだ珍しい二階建ての町屋で、漆塗り框、襖床、畳床など贅を尽くした本床の間がある。その中には、都合山の資料とジオラマ、高殿模型が展示されているのだが、この高殿模型は安来市旧和鋼記念館の中心展示物であった物を倉吉の鋳物師齋江家が譲り受け、さらに日野町に譲渡されて修復展示した由緒ある都合山高殿の十分の一模型である。

このたたら楽校は日野町公舎内にあり、歴史的建築物をその由来とともに有効利用した好例として評価が高い。4月11日の土日祝日に開館しているが、団体希望があれば平日でも開館、ガイドが可能である。